

令和6年度

図書館要覧

市立竹原書院図書館

目 次

1	館名	1
2	所在地	1
3	連絡先	1
4	休館日	1
5	開館時間	1
6	館の沿革	1
7	歴代館長	3
8	敷地・建物	4
9	機構・機能	4
10	職員数と業務分担	4
11	館の特色	5
12	運営方針	5
13	管内人口・面積	5
14	予算	5
15	図書館資料の収集・除籍	6
16	図書館サービス	8
17	令和5年度利用状況	10
18	令和5年度実施事業・行事その他	13
19	館内見取図（建物平面図）	17
20	図書館への案内図	18

別添1 市立竹原書院図書館資料収集方針及び選定基準

別添2 市立竹原書院図書館資料除籍基準

- 1 館 名** 市立竹原書院図書館
- 2 所在地** 竹原市下野町3308番地(〒725-0012)
- 3 連絡先** (1)電話番号 0846-22-0778
 (2)FAX番号 0846-22-1072
 (3)ホームページアドレス <https://takeharashoin.jp/>
 (携帯電話用) <https://takeharashoin.jp/mobile/>
 (4)メールアドレス library@takeharashoin.jp
- 4 休館日** (1)月曜日(祝日のときは開館, 直後の祝日ではない日に振替)
 (2)館内整理日
 (3)特別整理期間(年間10日以内)
 (4)年末年始(12月29日～1月4日)
- 5 開館時間** 午前10時～午後6時

6 館の沿革

明治43年10月	寛政年間の郷塾「竹原書院」の伝統をついで、町の有志が、社団法人「竹原書院」を設立、図書館活動を開始
大正15年 3月	文部省より選奨される
昭和 4年 4月	社団法人「竹原書院」を発展的に解消して竹原町に移管、町立図書館竹原書院となる
昭和 9年 2月	再び、文部省より選奨される
昭和33年11月	市制施行により、市立図書館竹原書院となる
昭和34年 5月	巡回文庫開始
昭和34年10月	「社団法人竹原書院」開館50年記念行事開催
昭和35年 2月	条例整備に伴い市立竹原書院図書館と名称変更
昭和44年12月	図書館協議会設置
昭和46年12月	中央4丁目に図書館新築落成 昭和47年2月活動開始
昭和55年 5月	「竹原市視聴覚ライブラリー」を併設
昭和57年10月	移動図書館車「わかたけ号」活動開始
昭和60年12月	録音図書郵送貸出サービスの開始
平成 元年 5月	県立図書館資料データベースのオンライン検索サービス開始
平成 元年 9月	拡大読書器設置
平成 2年 2月	返却用ブックポスト設置
平成 4年 3月	移動図書館車「わかたけ2号」活動開始(1号車は廃車)
平成 4年 4月	利用者資料検索のためパソコン入力開始

平成 5年 2月	江戸期の郷塾「竹原書院」開講200年記念行事開催
平成10年10月	三原市立図書館と広域相互利用開始
平成11年 4月	安芸津町図書館と広域相互利用開始
平成13年 3月	「みんなのための図書館サービス」(中間報告)作成
平成14年 3月	「みんなのための図書館計画」作成
平成14年 3月	「竹原市立図書館建設基金条例」制定
平成15年 4月	図書館システム電算化
平成15年 4月	移動図書館車の運転業務が民間委託となる
平成15年12月	ホームページ開設
平成16年 3月	「竹原書院」開講210年記念講演会開催
平成16年 4月	～10月 たけはら美術館企画展「竹原書院所蔵品展」開催
平成17年 3月	東広島市立図書館と広域相互利用開始
平成18年 9月	広島広域都市圏内での図書館利用開始
平成19年 5月	インターネット利用開始
平成20年 5月	移動図書館車購入事業助成決定
平成20年 7月	図書館システム更新
平成20年10月	市内4中学校に端末機設置 インターネット予約・連絡開始
平成21年 3月	「みつばち文庫」の寄贈を受ける
平成21年 4月	移動図書館車「わかたけ3号」活動開始 (2号車は海外にて活動)
平成21年 4月	広島県域図書館情報提供ネットワーク来(ら)いぶらりネットに参加
平成21年 4月	文部科学大臣表彰 を受ける
平成21年 5月	「読書の森づくり事業」実行委員会を立ち上げ
平成21年 5月	「中井正一講演会」を開催
平成21年 7月	「読書の森づくり」講座開始(～平成22年1月)
平成21年 8月	「古本泰千文庫」の寄贈を受ける(小学校の調べ学習対応参考書を購入市内小学校に貸出)
平成22年 4月	機構改革で教育委員会から市長部局市民生活部まちづくり推進課文化生涯学習室所属となる
平成22年 4月	ブックスタート開始(小学新1年生への絵本プレゼント・読書カード配布)(～平成28年)
平成22年10月	「社団法人竹原書院」100周年記念式典開催
平成25年 4月	市内4中学校 端末機撤去
平成25年 7月	図書館システム更新
平成26年11月	NHK連続テレビ小説「マッサン」の舞台余市とエキスチェンジ(相互観光支援展示)「北の大地・余市特集」を開催
平成28年 4月	機構改革で市長部局市民生活部まちづくり推進課から教育委員会文化生涯学習課所属となる
平成30年2・3月	仮移転のため休館する(2/5～4/2)
平成30年 4月	フジ竹原店 テナント敷地内に仮移転・開館(4月3日)
平成30年 8月	「市立竹原書院図書館資料除籍基準」施行

令和 2年 8月	「市立竹原書院図書館管理運営計画」策定 「市立竹原書院図書館資料収集方針及び選定基準」施行
令和 2年11月	電子図書サービス開始
令和 3年 4月	指定管理者 株式会社図書館流通センターによる運営管理開始
令和 3年 4月	文化の日と同様に他の祝日を開館開始
令和 5年 3月	国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加
令和 5年 6月	移動図書館車購入事業助成決定
令和 5年11月	市立竹原書院図書館 本館館内蔵書レイアウト変更実施

7 歴代館長

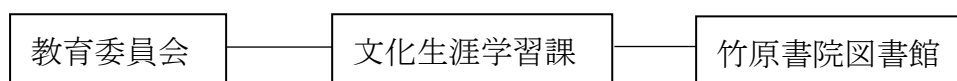
代	館長氏名	在職期間	摘要
初	村上 英	昭和 4. 4 ～ 22. 5	兼任
2	三村 剛 昂	昭和 22. 6 ～ 25. 3	〃
3	松阪 昭 二	昭和 25. 3 ～ 27. 8	〃
4	水戸 幾 七	昭和 27. 9 ～ 30. 4	〃
5	田中 達 三	昭和 30.10 ～ 32. 5	〃
6	吉井 章 五	昭和 32. 6 ～ 35. 3	〃
7	三村 剛 昂	昭和 35. 4 ～ 40. 9	〃
8	木村 亮 平	昭和 40.12 ～ 61. 3	〃
9	住田 和 弘	昭和 61. 4 ～ 62. 6	〃
10	谷 鶴 幹 三	昭和 62. 7 ～ 平成元. 4	〃
11	貞 森 一 隆	平成 元. 4 ～ 6. 3	専 任
12	檜 山 泰 二	平成 6. 4 ～ 8. 3	〃
13	榎 原 義 孝	平成 8. 4 ～ 10. 6	兼任 平成9.4～専任
14	玉 田 静 男	平成 10. 7 ～ 14.10	専 任
15	橋 本 春 雄	平成 14.11 ～ 15. 3	〃
16	寄 能 道 子	平成 15. 5 ～ 23. 3	非 常 勤
17	今 村 恵理子	平成 23. 4 ～ 28.11	〃
18	塚 本 隆 司	平成 29. 4 ～ 令和 3. 3	〃
19	山 下 徹 也	令和 3. 4 ～ 令和 4. 3	指定管理
20	末 広 真	令和 4. 4 ～	〃

8 敷地・建物

構造	面積	児童コーナー	一般図書コーナー	事務室・作業室
フジ竹原店 テナント敷地内 鉄筋コンクリート造り	502.2 m ²	55.03 m ²	286.07 m ²	161.1 m ²

9 機構・機能

(1) 機構・組織



(2) 市立竹原書院図書館協議会 定員7名以内

任期 令和6年5月1日～令和7年4月30日まで

氏名	備考
元 永 圭 一	学校教育関係者
伊 場 田 真 彦	学校教育関係者
福 原 典 子	社会教育関係者
新 潟 征 子	社会教育関係者
井 上 美 保	家庭教育活動者
古 重 理 恵	家庭教育活動者
八 田 節 子	学識経験者

10 職員数と業務分担

()内は司書資格者で内数

職名	業務内容	職員数
館長	管理運営統括	1
副館長(チーフ)兼 資料担当責任者	管理運営統括補佐, スタッフの取りまとめ	1(1)
サブチーフ兼 システム担当者	チーフ職の補佐, 図書館システムの更新及び運用・維持など	1(1)
サブチーフ兼 図書館学習担当者	学校, こども園, 及び読み語りボランティア等関係団体との連携を含め, 子供の読書活動の推進	1(1)
一般スタッフ	フロア業務, 資料整理, 庶務全般	3(3)

1 1 館の特色

- (1) 当図書館設立のもととなった「竹原書院」は、寛政5年(1793)に郷土の先賢によって、子弟のための郷塾として設けられたものであり、その精神的伝統は、明治43年(1910)に設立された社団法人「竹原書院」に継承され、さらに現在の図書館名の中にも生き続けている。
- (2) 慶安3年(1650)以来、昭和35年に廃止されるまで約300年間続いた旧竹原塩田に関する資料を多数所蔵している。
- (3) 頼山陽を中心とする資料を収集した「頼山陽文庫」は、これまでに刊行された図書の殆どを所蔵している。

1 2 運営方針

- (1) 受け継ぐ / 歴史ある市及び図書館の伝統を尊重し、次世代へ継承します。
- (2) 育てる / 未来を担う子供たちの読む力、学ぶ力、調べる力を育みます。
- (3) つなげる / 地域と連携・地域発展のため、サービスを提供します。
- (4) 発信する / 地域の歴史や文化を保存し、発信・公開します。
- (5) 交流する / 市民のみならず、多くの方々の交流の場を提供します。

1 3 管内人口・面積 (令和6年3月31日現在)

人 口	面 積
22,936 人	118. 23k m ²

1 4 予 算 (当初予算)

(単位:千円)

項 目	年 度	
	令和5年度	令和6年度
一般会計	15,046,581	16,618,442
教育費	931,741	987,898
図書館費	53,950	54,251
指定管理委託料	53,718	49,644
委託料・保険料その他	232	4,607

15 図書館資料の収集・除籍

収集方針

資料の選定・収集にあたっては、住民の生活に役立つ教養，芸術文化の向上に資する情報の正確・迅速な提供を目的として「市立竹原書院図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき，以下の資料等，特徴を持った資料とする。

ア 竹原市の歴史・文化を知ることができるよう，郷土資料・行政資料を網羅的に収集する。

イ 郷土資料をはじめとした入手の難しい資料についても積極的に収集する。

ウ 中学生・高校生に向けた多種多様な資料を収集する。

エ 子育てや健康など，住民の生活に密接し，支援する資料を収集する。

オ 視力障害者に対する録音図書，点字図書資料を収集する。

収集状況

ア 図 書（令和6年3月31日現在）

区 分 分 類	本 館				
	蔵 書 数	年 間 増 加 冊 数			
		受 入	廃 棄	小 計	
0. 総 記	12,820	104	58	46	
1. 哲 学	6,841	92	16	76	
2. 歴 史	16,941	129	48	81	
3. 社会科学	22,107	366	45	321	
4. 自然科学	12,343	223	50	173	
5. 工 学	12,582	158	8	150	
6. 産 業	5,730	76	6	70	
7. 芸 術	13,559	163	16	147	
8. 語 学	2,780	49	12	37	
9. 文 学	91,129	1,369	945	424	
計	196,832	2,729	1,204	1,523	
内	児 童	50,289	859	912	-53
	郷 土	18,570	76	0	76
その他(漫画図書)	2,003	2	0	2	
蔵 書 冊 数		198,835 冊			

*蔵書冊数については，平成15年度より電算化となり入力された数，また雑誌・AVは除く

イ 雑誌・新聞・加除式資料類 受入数(令和5年度)

	雑 誌	新 聞	法規・判例	公 報 類
購 入	107	7	1	1
寄 贈	6	0	0	0
計	113	7	1	1

ウ 郷土資料 (令和6年3月31日現在)

区 分	内 容	点数
図 書	竹原市内に関するもの	9,316
図 書	広島県内に関するもの	9,254
近 世 文 書	市史編さん史料として,合併町村から集めたもの及び竹原塩田関係資料	約 20,000
古地図・拓本類	江戸時代の古絵図(軸物)と,郷土に関係した拓本類	32

エ 特別資料

資料名	冊数
頼山陽文庫	855 冊
橋本曇齊資料	67 冊
寄贈文庫 (光本・池田総理記念・唐島・吉井・山下・三村・松山文庫など)	11,262 冊

キ 視聴覚資料 (令和6年3月31日現在)

種 類	数	種 類	数
録音テープ	378 本	マイクロフィルム	188 巻
ビデオテープ	31 本	DVD	202 枚
コンパクトディスク	80 枚		

ク 電子図書(令和6年3月31日現在)

蔵書冊数	1,194 冊
------	---------

除籍方針

蔵書資料の有効かつ適正な活用を図るため、「市立竹原書院図書館資料除籍基準(平成30年8月施行)」により除籍する。

除籍状況

令和4年度 1, 445冊
令和5年度 1, 204冊

16 図書館サービス

(1)館内サービス

ア 分類方式 令和4年度より新訂10版

視聴覚資料 高橋重臣「レコード分類表案, 件名標目案」を準用

イ 目録の種類 コンピュータ目録(利用者用検索端末1台)

ウ 配架内容・冊数

○開架: 一般図書, 児童図書, 絵本, 郷土資料, 参考図書等(約 74,000 冊)

○閉架: 古い版の図書, 雑誌, 新聞, 郷土資料の内の近世文書, 特に貴重な図書等
(約 26,000 冊)

エ 貸出

○個人貸出

対象: 市内に住所又は, 通勤, 通学先のある人

広島広域都市圏内に住所のある人

その他, 館長が特に事情を認めた人

貸出: 1人20冊まで 期間は14日以内

なお, 辞典・年鑑類・貴重資料・郷土資料の重要なものは貸し出さない。

○団体貸出

対象: 市内の学校, 官公庁, 事業所, 各種グループ, その他の団体

貸出: 利用団体は, 所定の団体登録申込書を提出する。

1 団体50冊まで 期間は1ヶ月以内

○大型絵本(大型紙芝居)の貸出

対象: 団体のみ (個人のボランティア活動での使用については要相談)

貸出: 1回3冊まで 期間は1週間以内(貸出予約は所定の用紙にて申し込む)

オ レファレンス・サービス

図書, 調べ物等に必要な資料を探すお手伝いを, カウンター, 窓口, 電話, FAX, メールで受付。

カ 複写サービス

当館の資料に限り, 著作権法などに基づき必要な箇所を, 利用者により複写(有料)

キ 障害者サービス

○筆談用ボード・補聴器の設置

○館内使用車椅子の設置

○視力障害者を対象とした, 録音テープの発送。(朗読ボランティア「しおさい」録音の「広報たけはら」の毎号, 各新聞の記事, 本の朗読等の録音テープ等)

ク 児童サービス

○ブックスタート事業(竹原商工会議所女性部から依頼を受け、保健センターの4, 5か月児健診時に絵本紹介と共に絵本を配布)

○おはなし会, 工作教室や参加型イベント(映画会・ボードゲーム大会)実施。

ケ 電子図書館サービス

対象:個人貸出のみ(市内に住所又は, 通勤, 通学先のある人)

貸出:1人3冊まで 期間は14日以内

予約:1人3冊まで

返却:14日で自動返却

コ インターネット蔵書検索・予約について

○パソコンや携帯電話から, 図書館の蔵書検索・予約が可能

○館内パソコン利用サービス

・蔵書資料の検索・予約

・国立国会図書館資料デジタル化資料送信サービスの利用

・官報情報検索サービスの利用

サ サービスの充実

○利用者アンケートの実施

○映画会の開催

○図書館俳句ポスの設置

シ 定例行事

○読書会 毎月1回 第2水曜日 13時から

○絵本の会 毎月1回 第2土曜日 11時から

○文庫まつり 毎年1回

○竹原市保健センター乳幼児健診時での絵本の貸出・紹介など 毎月2回

○広域読み語りボランティア研修会 毎月第1土曜日

○広域読み語りボランティア企画会議 毎月1回

○学校図書館司書との打ち合わせ 毎月1回

(2)館外サービス

ア 移動図書館車の運行

○ 対象: 原則として図書館から, 2km以上離れた地区

○ 巡回場所: 8コースの38ステーションを毎月1回巡回 (第1~第4木・金曜日)

宿根地域へは、別便で巡回対応

○ 貸出期間・冊数: 個人 1ヶ月 20冊まで, 団体 1ヶ月 50冊まで

○ 小学校への学級単位及びこども園での団体貸出 毎月1回実施し交換

○ 旧田万里小学校に開店した「あさひチョコレート」への団体貸出 隔月に1回 30冊

イ 移動図書館車「わかたけ3号」の各ステーション

コース	町名	駐車場名	コース	町名	駐車場名
(第一木曜日) 第一コース	忠海中町	忠海地域交流センター	(第一金曜日) 第二コース	田ノ浦	竹原こども園
	忠海東町	忠海小学校		田ノ浦	竹原小学校
	忠海中町	黒滝ホーム		港町	コーポまとば
	忠海長浜	長浜会館		高崎町	高崎城会館
	福田町	大乘こども園		高崎町	大乘ハイツ集会所
(第二木曜日) 第三コース	吉名町	吉名こども園	(第二金曜日) 第四コース	吉名町	吉名地域交流センター
	竹原町	竹原西小学校		吉名町	吉名学園
	下野町	大井地域交流センター		吉名町	吉名沖辺集会所
	中央	市役所北側		吉名町	宗越園
	港町	喜多崎集会所			
(第三木曜日) 第五コース	西野町	老人保健施設ゆさか	(第三金曜日) 第六コース	竹原町	たけのこども園
	西野町	荘野小学校		高崎町	大乘小学校
	田万里町	田万里郵便局		忠海東町	忠海東部こども園
	新庄町	JA 広島荘野支店		忠海床浦	忠海団地旧竹原生協
	新庄町	賀茂川こども園		忠海床浦	旧忠海西小学校
(第四木曜日) 第七コース	東野町	東野小学校	(第四金曜日) 第八コース	仁賀町	仁賀小学校
	東野町	東野地域交流センター		下野町	中通小学校
	小梨町	小梨会館		下野町	旧大王生協西駐車場
				下野町	多機能型事業所あさひ
				下野町	竹原病院 虹工房

17 令和5年度 利用状況

(1) 開館日数

本館
291 日

移動図書館車
96 日

(2) 図書の利用

(人数・冊数)

		本 館	移動図書館	合 計
個人貸出	登録者数	16,040	-	16,040
	貸出者数	※ 32,028	5,519	37,547
	貸出冊数	118,598	15,638	134,236
団体貸出	登録団体数	108	-	108
	貸出冊数	6,769	35,192	41,961
停本所貸出	停本所数	10	-	10
	貸出冊数	8,915	-	8,915
貸出合計冊数		134,198	50,833	185,131

※個人貸出の貸出者数については、令和5年度よりWEB予約による貸出者数を含めている。

(3) 予約の状況

予約数	30,156 件
-----	----------

(4) ベストリーダー

順位	一般図書	順位	児童図書
1	白鳥とコウモリ 東野 圭吾／著 東京:幻冬舎	1	からすのパンやさん かこ さとし／絵と文 東京:偕成社
2	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 東野 圭吾／著 東京:光文社	1	人体のサバイバル 2 ゴムドリ co.／文 東京:朝日新聞出版
3	探花 今野 敏／著 東京:新潮社	3	海賊世界へタイムワープ 細雪 純／マンガ 東京:朝日新聞出版
4	教誨 柚月 裕子／著 東京:小学館	4	トンネルのサバイバル パク ソンイ／文 東京:朝日新聞出版
4	マスカレード・ゲーム 東野 圭吾／著 東京:集英社	5	かいけつゾロリのメカメカ大さくせん 原 ゆたか／さく・え 東京:ポプラ社
6	透明な螺旋 東野 圭吾／著 東京:文藝春秋	5	11ぴきのねこどろんこ 馬場 のぼる／著 東京:こぐま社
7	収納が、ない！ おさめ ますよ／著 東京:ワニブックス	5	ドラえもん社会ワールド経済がよくわかる 藤子・F・不二雄／まんが 東京:小学館
7	秋麗 今野 敏／著 東京:角川春樹事務所	8	竜巻のサバイバル リメ／文 東京:朝日新聞出版

7	石礫 今野 敏／著 東京:光文社	8	だるまさんと かがくい ひろし／さく 東京:ブロンズ新社
7	102歳、一人暮らし。 石井 哲代／著 東京:文藝春秋	8	ドラえもん社会ワールド政治のしくみ 藤子・F・不二雄／まんが 東京:小学館
7	無明 今野 敏／著 東京:幻冬舎	8	ぼくはいつたいどこにいるんだ ヨシタケ シンスケ／作 東京:ブロンズ新社
		8	ポケモンをさがせ！ 2 相原 和典／画 東京:小学館
		8	ミック！ 7 ウォルター・ウィック／写真 東京:小学館

(5) 電子図書の利用状況 (R5.4月～R6.3月)

登録者数(R6.3.31 現在)	14,101 人
貸出数	1,814 件
予約数	562 件
閲覧数	4,694 件

(6) 複写サービスの状況

本 館	2,863 枚
-----	---------

(7) 視聴覚サービス(視力障害者)

録音図書の発送利用状況

利 用 者 数	5 人	内 訳	郵送によるもの(無料)	5 人
利 用 本 数	グループしおさい 声のたより 他			235 本

(8) 相互貸借の状況

借 受	451 冊	貸 出	479 冊
-----	-------	-----	-------

(9) 図書館行事の状況

	計	頻 度		場 所		参加人数 (人)	
		定 例	随 時	館 内	館 外		
読 書 会	12	○			○	122	
たまたばこ研修会	11	○			○	244	
絵本の会	11	○		○		142	
文庫まつり	1	○			○	80	
絵 本 の 紹 介	4～5ヶ月児健診	6	○		○	90	
	9～10ヶ月児健診	6	○		○	90	
	1歳6ヶ月児健診	4	○		○	70	
	3歳児健診	4	○		○	70	
	J-POWER 祭り	1		○		○	1,000
	ふくし健康まつり	1		○		○	800

18 令和5年度 実施事業・行事その他

(1) 図書館見学の受け入れ・出前授業の実施

月 日	内 容	学 校 名(学年)
5月2日	図書館見学	竹原西小学校(2年)
5月17日	出前授業	賀茂川中学校(全生徒)
6月15日	図書館見学	東野小学校(1年・2年)
7月12日	出前授業	東野小学校(4年・5年・6年)
10月24日	出前授業	竹原小学校(4年)
11月29日	図書館見学	大乘小学校(2年)
12月13日	出前授業	中通小学校(4年)
1月24日	出前授業	竹原西小学校(3年・4年)
2月7日	出前授業	忠海学園前期課程(3年・4年)

(2) 実施行事

月 日	行 事	内 容
4月23日～ 5月12日	こども読書週間	本を借りた児童に鉛筆をプレゼント
5月27日	第36回文庫まつり 「おはなしひろば」	読み語りボランティア「たまたまばこ」と共催し中通地域交流センターにてこども向けに読み語りイベント実施
5月28日	第1回竹原学歴史講座	テーマ『竹原の古代文化と遺跡』を実施
6月の雨天日	雨の日プレゼント	雨の日の来館者にしおりをプレゼント
6月6日～ 6月9日	キャリア・スタート・ウィーク	竹原中1名・賀茂川中2名の2年生を受入れ
6月～7月	貴重書の保全作業	旧田万里小学校に保管している箱の中へ防虫剤の入れ替え
7月15日	第2回竹原学歴史講座	テーマ『竹原木村城・長善寺と石山合戦』を実施
7月25日	キッズ・ハート教室	子供向けの人権関係の読み聞かせを竹原市人権センターと共催し実施
8月6日	大人のボードゲーム大会	東京から講師を呼び大人向けのボードゲームを開催
9月16日	第3回竹原学歴史講座	テーマ『竹原の製塩業とその移り変わり』を実施
9月24日	ふくし健康まつり	保健センターで開催のイベントに移動図書館車で参加し、貸出等を行う
10月22日	児童文学絵本作家「羽尻利門さん」講演会	テーマ「絵本づくりに込める思い」を実施
11月12日	J-POWER まつり	J-POWER 開催のイベントに移動図書館車で参加し、貸出等を行う
11月18日	第4回竹原学歴史講座	テーマ『町並み保存地区の歴史と建造物』を実施
11月28日～	図書館アンケート(WEB形式)	171人の回答あり(HPにて公開)

12月28日	を実施	
12月9日	子供向けの映画会	『おまえうまそうだな』を上映
1月20日	第5回竹原学歴史講座	テーマ『竹原西国33番札所めぐり』を実施
2月4日	バリアフリー上映会	『すみっコぐらし とびだす絵本とヒミツのコ』を上映
3月16日	第6回竹原学歴史講座	テーマ『明治以降竹原が生んだ偉人賢人文化人』を実施

読書会

《毎月第2水曜日 13:00～》

月 日	テーマ・課題本
4月12日	ニホン語日記（井上 ひさし／著）文藝春秋
5月10日	式子内親王伝（石丸 晶子／著）朝日新聞社
6月14日	星落ちて、なお（澤田 瞳子／著）文藝春秋
7月12日	思い出の作家たち（ドナルド・キーン／著）新潮社
8月9日	『思い出の作家たち』振り返り
9月13日	小倉遊亀 天気恵みを生きる（小倉 寛子／著）文化出版局
10月11日	病院で死ぬということ（山崎 卓郎／著）海竜社
11月22日	おもかげ（浅田 次郎／著）毎日新聞社
12月13日	いい女へのパスポート（秋山 さとこ／著）牧羊社
1月10日	JR上野駅公園口（柳 美里／著）河出書房新社
2月14日	『JR上野駅公園口』振り返り
3月13日	2023年度 私の一冊

絵本の会

《毎月第2土曜日 11:00～》

月 日	テーマ
4月8日	わくわく
5月13日	ぽかぽか
6月10日	パシャパシャ ジャブジャブ
7月8日	夏 来たー！

9月9日	夜になると・・・
10月7日	おいしいものみつけ !!
11月11日	たのしいあき！
12月9日	冬もクリスマスも楽しもう！
1月13日	あったまろうね！
2月10日	雪やこんこん！
3月9日	ありがとう

ブックレストラン「たまたまばこ」(事務局)

《研修会毎月第1土曜日 10:00～ 企画会議：不定期》

月 日	内 容
4月8日	研修会 「第36回文庫まつり練習」
4月8日	企画会議
5月13日	研修会 「第36回文庫まつり練習」
5月13日	企画会議
6月3日	研修会 「読み語り実践私の1冊・第36回文庫まつり反省会」
6月3日	企画会議
7月1日	研修会 「朝読設計書の必要性について再確認」
7月1日	企画会議
8月	研修会・企画会議共に開催なし
9月9日	研修会 「つくってみよう朝読設計書」
9月9日	企画会議
10月7日	研修会 「三匹のこぶた」読み比べ
10月7日	企画会議
10月31日	企画会議
11月11日	研修会 「読み語り実践・私の1冊」をするにあたって
12月2日	研修会 「切手のない贈り物」20周年バージョン
12月2日	企画会議
1月13日	研修会 「おせちのお正月・もちもちおもち」読み聞かせ
1月13日	企画会議
2月3日	研修会 「鬼のぱんつ」読み聞かせ・読み語り実践私の1冊」
2月3日	企画会議
3月2日	研修会 「第37回おはなしひろば開催に向けての準備」
3月2日	企画会議
3月23日	支店長会議

＊【ブックレストラン「たまたげこ」】

竹原市内小学校や地域で活動している読み語りグループ(13団体)で平成15年10月に結成。毎月1回企画会議・研修会を行い、図書館での「絵本の会」や「認定NPO法人ふれあい館ひろしま」で読み語りなどの活動をしているボランティア団体。

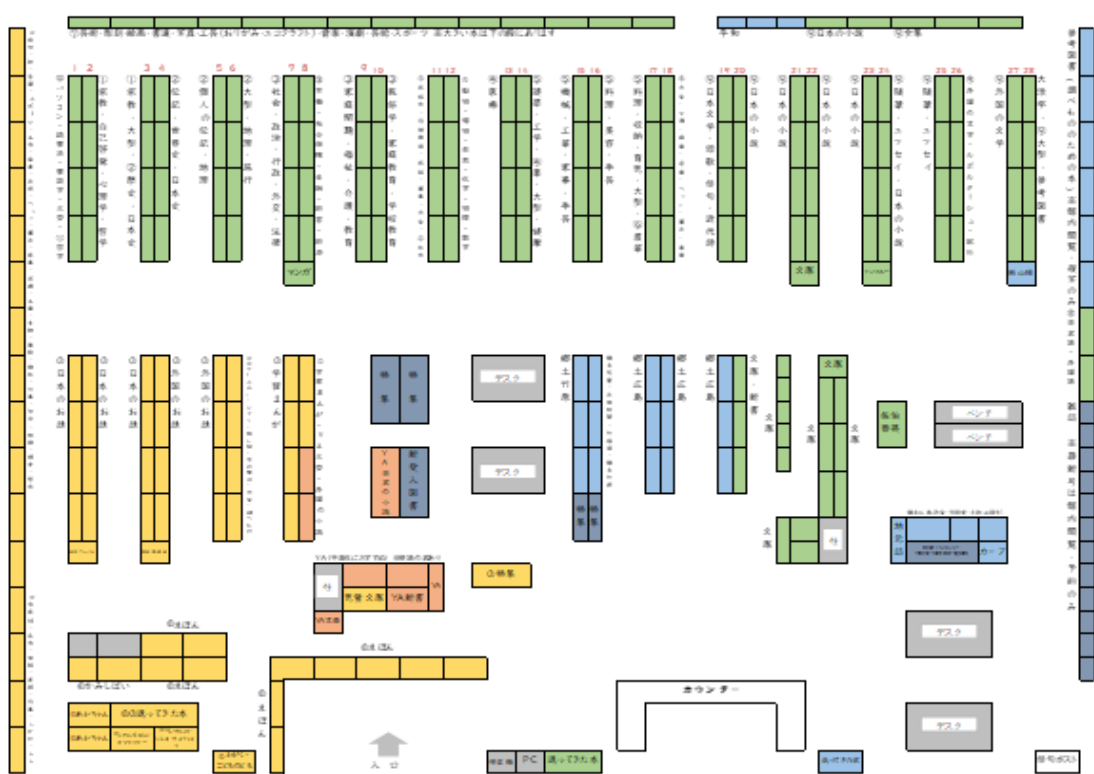
(3) 広報活動

- 図書館だより(毎月・市内回覧)
- 図書館行事ポスター
- 図書館ホームページ・SNS

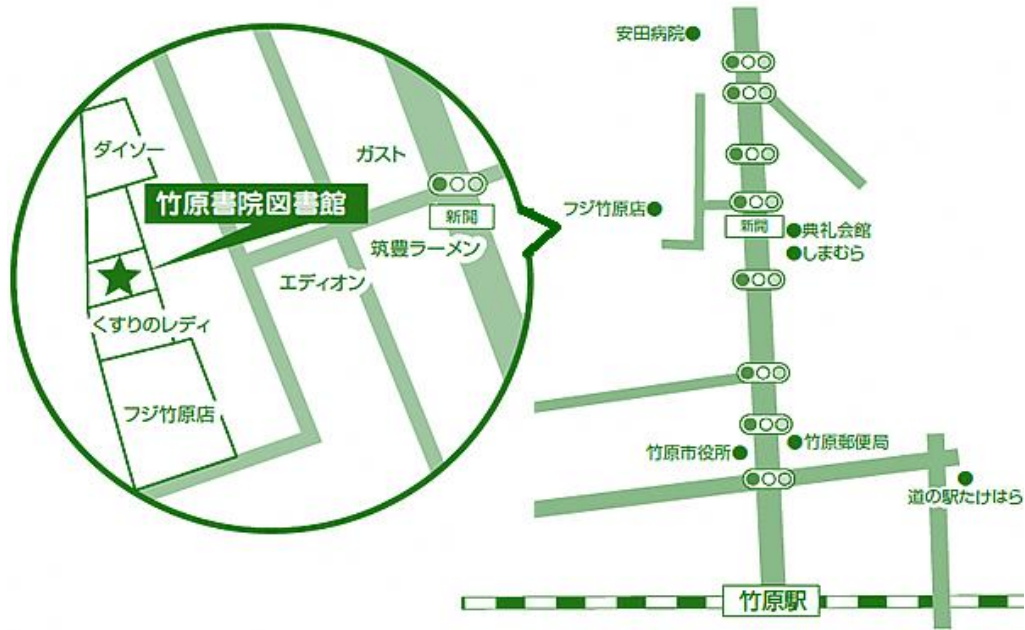
図書館の刊行物

「市立竹原書院図書館要覧 令和5年度」 令和5年6月発行
 「読書会感想文 令和5年度」 令和6年6月発行

19 館内見取図 (建物平面図)



20 図書館への案内図



別添1

市立竹原書院図書館資料収集方針及び選定基準

【趣旨】

この資料収集方針及び選定基準は、地域住民の教養・調査研究・レクリエーション等を援助し、読書を通じた先人の学びや思いがけない感動、心の潤いの提供をめざし、知の拠点として教育と文化の向上と発展に寄与することを目的とした蔵書構成となるよう市立竹原書院図書館の、資料の収集における選定の視点や留意すべき事項を定めるものである。

1 一般基準

- (1) 常に新鮮な資料を提供できるよう、資料の更新に努める。
- (2) 汚損、破損等による廃棄資料や不明資料の補充を行う。
- (3) 全集、年鑑、シリーズもの等の継続性のある資料については、欠巻が生じないよう留意する。
- (4) 入門的、概説的な資料は各分野にわたって収集する。
- (5) 幅広い資料を収集するため、類書のないもの、少ないものは収集する。
- (6) 利用実績を考慮して収集する。
- (7) 高度な専門書・学術書・学習参考書・各種問題集、ゲームの攻略本等は原則として収集しない。
- (8) DVD-ROM, CD-ROM などのついた図書のうち、貸出するものは、付属資料の貸出許諾があるものを原則として収集する。
- (9) 書き込むことや切り取ること、組み立てることを目的とした資料や、著しく破損しやすい資料等、多数の利用に供することができない資料は原則として収集しない。
- (10) 貸出することが難しい付録付きの資料は、原則として収集しない。
- (11) 同一資料の購入は、原則として1冊までとする。ただし、児童書・郷土資料は適宜複本を購入する。
- (12) 政治的、社会的に対立する意見のある問題については、それぞれの立場の資料を収集するよう努める。
- (13) 宗教学は、宗教・宗派によって差別せず、中立的な立場を守り、偏ることなく収集する。特定の宗教法人の布教目的の資料は、収集しない。

2 重点収集資料

- (1) 竹原市に関する資料は、市内で発行された逐次刊行物、写真、古地図、古文書、公文書等、郷土に関するあらゆる形態の資料を網羅的に収集する。
 - ア 竹原市内の個人・各種団体等が発行する資料
 - イ 竹原市に関する歴史・文化・政治・経済・産業等を取り扱った資料
 - ウ 竹原市出身者・在住者・在職者・竹原市に深くかかわった人物の著作及びこれらの人物に関する資料
 - エ 竹原市が発行する行政資料

- (ア) 竹原市、竹原市の各行政委員会、及び竹原市議会が編集または発行する資料
 - (イ) 竹原市の関係機関が編集または発行する資料
 - (ウ) 竹原市市政に関する資料
 - オ 竹原市の地図・地形図・住宅地図
 - カ 竹原市に関する記述がある資料
- (2) 次の資料は、積極的に収集する。
- ア 広島県の歴史・文化・政治・経済・産業等を取り扱った資料
 - イ 竹原市に関係の深い地域に関する資料
 - ウ 原爆に関する資料

3 資料別収集方針

(1) 図書

ア 一般図書

- (ア) 利用者の学習、教養、実用、レクリエーション等に資することができるよう、基本書、入門書を中心に収集する。一般の利用が見込めるものであれば専門書も収集の対象とする。
- (イ) 収集にあたっては、次の点に留意する。
 - a 公共図書館に適した図書であること。
 - b 地域生活、家庭生活に役立つ図書であること。
 - c 一般教養、趣味に役立つ図書であること。
 - d ビジネス、生活設計に役立つ図書であること。
 - e 読書普及に役立つ図書であること。

イ 児童図書(児童文学・絵本・紙芝居・その他)

- (ア) 「竹原市子ども読書活動推進計画」を考慮して収集を行う。
- (イ) 子どもの創造力を伸ばし、感性を豊かにし、成長の糧となる図書、また創造性が豊かで快く楽しませる図書を収集する。
- (ウ) 各分野の評価の定まった図書を中心に、幅広く体系的に収集する。
- (エ) 子どもの探求心に応え、調べることの楽しさを伝えることができる資料を収集する。
- (オ) 長い間読み継がれ評価の定まった図書は、必要な複本を揃える。
- (カ) 地域やこども園、小学校、中学校、特別支援学校、関係部署等と連携を図り、地域の特性を考慮して、教科の学習の展開を支援し、調べ学習に対応できる図書を収集する。
- (キ) 子どもが利用できる参考図書について、幅広く収集する。
- (ク) 明瞭で正確な写真、絵画、グラフ、図表等により視覚化し、健全で正確な知識を伝え、子どもの理解を助ける内容の資料を収集する。

ウ 青少年図書

- (ア) 対象は、13歳頃から18歳頃までとする。

- (イ) 言葉の表現やイラスト等が健全であり、対象年齢にふさわしいこと。
- (ウ) 対象年齢の興味関心をひく内容であること。
- (エ) 学校生活や家庭生活に役立つ内容であること。
- (オ) 将来の進路や職業選択の参考になる図書であること。

エ 参考図書

- (ア) 市民の調査研究に必要な年鑑，白書，統計，辞典，事典，図鑑，書誌，目録，資料集，史料集，新聞縮刷版，政府刊行物，地図，法令集等を幅広く収集する。
- (イ) 各言語の辞典類は，各言語対和訳を中心に収集する。

オ 外国語図書

外国語で書かれた基本的なものを収集する。

カ 漫画

- (ア) 歴史的にすでに評価の定まっている作品。あるいは，現時点でも同等の評価ができるものを収集する。
- (イ) 子供を含めて，幅広い層に親しまれる作品を収集する。

(2) 逐次刊行物

ア 新聞

全国紙，広島県及び竹原市を対象とした地方紙，児童・青少年対象の新聞を収集する。

イ 雑誌

- (ア) 専門誌や趣味・娯楽に関する雑誌，児童向き雑誌等，幅広いジャンルを収集する。
- (イ) 学術専門誌，漫画雑誌は原則として収集しない。

(3) 視聴覚資料

- ア 映像資料（DVD等），録音資料（CD等），その他のメディア資料を収集する。
- イ 館内上映や館外貸出について著作権者の許諾が得られているものを原則として収集する。
- ウ メディア媒体の進展にあわせ，適切な資料を検討し，必要に応じて収集する。

(4) 高齢者・障害者サービス資料

大活字本，録音資料，点字本，障害者対応のDVD，高齢者向け紙芝居等を収集する。

(5) 電子書籍

最適な提供方法を検討したうえで，市民のニーズに沿って収集する。

(6) その他の資料

その他の資料については，必要に応じて収集する。

附則 この方針及び基準は，令和2年8月25日から施行する。

別添 2

市立竹原書院図書館資料除籍基準

1. 趣旨

この基準は、市立竹原書院図書館が所蔵する資料（以下「資料」という。）の有効かつ適正な活用を図るため、資料の除籍に関する必要事項を定めるものとする。

2. 除籍対象資料

次のいずれかに該当する資料は、除籍することができる。

(1) 汚損・破損資料

汚損・破損が甚だしく補修が不可能なもの

(2) 不用資料

年月の経過により情報が古くなり、資料として利用価値が著しく低下したと認められるもの

ア 一般書

(ア) 出版後 10 年を経過したもので、次の条件を満たす資料

- a 社会科学，自然科学，工学及び産業等の分野において著しく時代にそぐわないもの
- b 類書が多数ある実用書

(イ) 出版後 5 年を経過したもので、同種の内容が繰り返し出版される分野の実用的なガイドブック

(ウ) 法律改正等で内容が古くなった実用書，新版または改訂版の受け入れにより，資料価値を失ったと認められる資料

イ 児童書

(ア) 出版後 10 年を経過したもので、次の条件を満たす資料

- a 社会科学，自然科学，工学及び産業等の分野において著しく時代にそぐわなくなった資料，新版または改訂版の受け入れにより，資料価値を失ったと認められる資料
- b 類書が多数あるもの
- c 統計資料のうち一般図書で代替できるもの

ウ 参考図書

出版後 15 年を経過したもので，社会科学，自然科学，工学及び産業等の分野において著しく時代にそぐわなくなった資料，新版または改訂版の受け入れにより，資料価値を失ったと認められる資料

エ 逐次刊行物

新聞・雑誌等の逐次刊行物で，定められた保存年限を経過した資料

オ 視聴覚資料

受け入れ後 10 年を経過したもので，利用価値がなくなった資料

(3) 亡失資料

- ア 天災などの不可抗力により回収不能と認められたもの
- イ 蔵書点検で所在不明となり、5年以上を経過したもの
- ウ 長期未返却の資料で督促を行ったのち、回収不能となり5年以上を経過したもの
- エ 利用者が汚損、破損または紛失した資料で、やむを得ない事情により、現物での弁償が不可能なもの

3. 除籍対象外の資料

次のいずれかに該当する資料は、除籍対象外とする。

- (1) 郷土資料・行政資料
- (2) 古典・名著・基本図書と評価される資料
- (3) 類書がなく、または極端に少ない分野の資料
- (4) 刊行頻度の少ない資料
- (5) 品切れ、絶版、その他の事情により、再び収集することが困難でかつ有用な資料
- (6) 差別を助長するまたは人権・プライバシーを侵害する恐れがあると判明したもので調査研究のために保存している資料
- (7) 寄贈文庫（光本文庫・唐島文庫・吉井文庫・山下文庫・三村文庫・稲葉文庫・池田総理記念文庫・下崎文庫・松山文庫・中井文庫・北西英子文庫・村上弑文庫）・頼山陽文庫・旧竹原書院図書館所蔵資料

4. 除籍手続

除籍の手続きは次のとおりとする。

(1) 除籍決定

除籍対象図書目録を作成し、図書館長の決裁により除籍決定する。

除籍決定図書を除籍簿に記載の上、除籍処理をする。

(2) 除籍資料の処分

除籍が決定した資料は、廃棄処分とする。

ただし、2の(2)に該当する資料については、リサイクル資料として認定こども園・保育所・幼稚園・学校・社会福祉団体及び一般に必要な応じて無償譲渡することができる。

この基準は、平成30年8月1日から施行する。

要覧 令和6年度

令和6年6月 発行

編集・発行 市立竹原書院図書館

〒725-0012 竹原市下野町3308番地

電話 0846-22-0778

FAX 0846-22-1072
